

始良市子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

会 議 名	令和5年度第2回始良市子ども・子育て会議		
日 時	令和6年1月10日（水）18：30～19：00		
会 場	始良市役所2号館3階 議会委員会室		
出 席 者	委 員	有村 玲香会長（議長）、山野 ちなみ委員、秋宗 郁子委員、坂口 利一委員、杉尾 育代委員、長尾 貴史委員、矢野 芳秀委員、茶圓 正幸委員、駒倉 國治委員、小門口 幸二委員、益森 隆史委員、田畑 佳菜委員、藤塚 里恵委員 計13名	
	事 務 局	保健福祉部次長兼子どもみらい課長、保健福祉部課長補佐兼保育係長、子ども政策係長、子ども政策係職員4名 計7名	
欠 席 者	藤田 麻美委員、倉岡 マキ委員 計2名		
開 催 形 態	公開	傍 聴 人 数	0人
会 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議等（議題） （1）第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査および調査票（案）について （2）特定教育・保育施設の利用定員の変更について （3）かじき親子つどいの広場（かじきっず）の運営について 4 その他 5. 閉会		
資 料	資料1 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査および調査票（案）について 資料2 特定教育・保育施設の利用定員の変更について 資料3 かじき親子つどいの広場（かじきっず）の運営について 始良市子ども子育て会議 委員名簿 始良市子ども・子育て会議条例、始良市子ども・子育て会議 運営指針		

【会議要旨】

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議等

(1) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査および調査票（案）について 事務局から資料に基づき報告

○益森委員 このアンケートについて、対象年齢の保護者は30代～40代の方がメインになると思う。前回、QRコードによる回答ができるようにといった話があったと思うが、今回の調査は紙のみの回答方式になるのか。

○事務局 担当課内で、ウェブによる回答も検討したが、設問を進めていくうえで回答の分岐点が多く、複雑な部分もあり、システムの構築が困難であった。回答率への影響も懸念されるが、今回については調査票（紙媒体）のみによる調査を行うと判断した。

(2) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について

事務局から資料に基づき報告

（蒲生てんてんこども園となった認定こども園の1号定員の変更、また変更に伴う教室の一室を利用した、児童クラブの新設）

○委員 特に意見・質疑なし。

(3) かじき親子つどいの広場（かじきっず）の運営について

事務局から資料に基づき報告

（始良市子ども館の開設に伴う、かじき親子集いの広場（かじきっず）の閉所）

○益森委員 閉所に伴い、かじきっず（委託事業者：テノ.コーポレーション）に従事していた職員（保育士）の処遇は今後どのようなになるのか。

また、始良市子ども館は直営とのことだが、地域子育て支援拠点事業を行ううえで職員のスキル等はどのようにしていくのか。

○事務局 これまでかじき親子集いの広場（かじきっず）で従事していた職員の処遇については、委託事業者であるテノ.コーポレーションが幾つかの施設を運営しているため、その中で配置転換をしていくと考えられるが、その件について市から委託事業者にはっきりと確認は出来ていない。

4月にオープンする始良市子ども館の職員の採用については、保育士等、資格を有した専門職の職員を市の会計年度任用職員という雇用形態で配置する予定である。また市の正規職員も配置予定である。

4 その他

○事務局 市民からの公募により、始良市子ども館の愛称が「ちるどん」に決定した。英語で子どもたちをあらわすチルドレンを、鹿児島弁のように、そして子どもたちも覚えやすいようにと始良市在住の河野さんが考案した愛称。ちるどんの”ちる”にはゆっくり過ごす、リラックスするという意味があり、子どもたちが楽しく過ごして、親御さんがゆっくり過ごすことができる施設というコンセプトにも合致をしている。

○事務局 始良市子ども子育て会議委員の委嘱期間が令和6年3月31日をもって終了する。令和6年度以降の委嘱については、改めて各関係団体へ推薦依頼を行う予定。来年度は、第3期子ども子育て支援事業計画の策定年度であり、策定にあたっては子ども子育て会議委員の意見が大変貴重になる。ニーズ調査票の内容についても意見をいただいた現委員については、再任依頼があった場合、受任していただくことも御一考いただきたい。

5. 閉会